

1 . 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 12 月 14 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672300078
法 人 名	医療法人 孝仁会
事 業 所 名	フレンドリーハウス のぎく
所 在 地	鹿児島県南さつま市笠沙町赤生木11372-397 (電 話) 0993-63-1210
自己評価作成日	平成25年10月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・地域での買い物やドライブへの外出
- ・アニマルセラピー
- ・季節を感じる行事
- ・地域とのつながり
- ・介護実習生を受け入れる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体の医療法人や同系列の社会福祉法人は、医療機関や老人保健施設・特別養護老人ホームを中心に、地域に根ざした医療福祉のサービスを展開している。
- ・職員全員で作った理念を、目に付くところに掲示し、みんなで意識付けをしている。
- ・小学校へ航空写真撮影に招かれたり、小学生や園児がホームを訪れて、ふれ合う時間がある。
- ・畑が敷地内にあり、野菜などを作り、栽培や草取り・収穫を利用者と一緒に楽しんでいる。
- ・地元の理容室へ行ったり、買い物やドライブをしたり、散歩をかねて、ちり捨てなど頻繁にスタッフと外に出て、地域の中での生活を楽しめるようにしている。
- ・運営推進会議は定期的に行なわれ、毎回、次のテーマ（合同運動会・避難訓練・コスモス見学・誕生会・日常生活等）を事前に決めて意見が出やすいようにしている。
- ・災害時についての備蓄品は、地域の人も使えるぐらい準備して、近くの建物内に保管されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を良く理解してもらい利用者の方がなじみのある方々に逢える機会を作れるように働きかけている	職員全員で作成した理念を目に付くところに掲示し、自由にその人らしく過ごし、地域との交流も機会あるごとに出かけ、地域の一員としての理念を実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域での買い物や散髪に行かれ、時折知人の方との交流を図れるようにしている	小学校の運動会や航空写真撮影会へ招かれたり、法人内で行なわれる合同運動会に地域住民を招待したりしている。誕生会や夏祭りに地域のボランティアが踊りや歌で参加し、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	散髪や買い物を通して地域の方々と触れ合う機会を作って認知症の方々の理解を得ています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員の方や市役所の方の助言をいただき、今後に繋げる事ができるよう資料を作り閲覧できるようにしている	定期的に会議が行なわれ、外部評価結果報告や利用者やホームの現状報告、次回のテーマ（合同運動会・避難訓練等）を決めて意見や提案が出やすいようにして、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加してもらいたく分からない事があったら聞いたりして積極的に意見交換が出来る時間を設けるようにしています	各種の手続き関係の書類を持参した時などにホームの取り組みや困難事例など報告し、相談している。介護保険関係などの担当者とも連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	夜間以外は一切施錠は行っておらず外へ出れる環境を作っている。	身体拘束は玄関の施錠を含めないようにマニュアル化し、管理者を始め職員全員、徹底している。研修や勉強会に参加して具体的に意識付けをしている。特に言葉かけについては、拘束にならないように注意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	ケア担当者会議や職員会議等で話し合いながら虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	会議等で話し合い個々の必要性に活用できるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	意向を確認しながらサービス内容の確認を行い同意を得るようにしています			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時やケア担当者会議の中で家族からの意見や要望がでたものは話し合いをする様に努めています	入浴時は会話がはずみ、思いや要望を聞いている。家族の面会などで本人から汲み取れなかつた事などを本人の近況報告とともに情報収集をして、職員で話し合い、運営に反映している。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や個別に話す機会をもうけている	管理者は職員会議等で、些細な事や日常業務で困ったことなど聞いている。個人的には日頃から相談しやすい雰囲気作りに努め意見を運営に反映している。		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人が向上心を持って働くように努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加をし勉強会にて発表の機会を設けている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会には加入していないが管理者は積極的に他のホームと連絡を取り合い相談や見学する機会を設けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と信頼関係が築けるように時間を設け会話を促し安心して暮らせるいように支援している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ニーズの確認や困っている事など本人、家族を含め尋ね今後どのように生活していくのか把握できるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリの必要な方は医院にてリハビリが受けられるように支援したり、治療が必要な方には医師に相談し往診等に診察してもらえるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者、職員が共に支えながら生活出来るように取り組んでいく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外出、又は外泊を支援して頂くことで利用者の方も御家族と過ごす事で喜びうを感じていて事を伝え御家族の協力を得ている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方や親戚の方と会う機会を設ける事で関係性が途切れない様に努めている	馴染みの店や理容室の利用で、知人からの声かけがあり、これまでの関係を継続できるよう支援している。また、施設入所中の兄弟を訪ねたり、帰宅願望の利用者の家族には面会を働きかける等して、関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事作業等も一人で行うのではなく皆で取り組み助け合いながら行っており話もわきよい関係性ができている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても本人や家族から相談を聞き対応や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて 期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>意思がなかなか言えない利用者の方などその方が一番困っている事や楽しみにされている事を把握し利用者の方の立場となり考えて行動している</p>	<p>入居の最初の段階で今までの生活習慣や希望などを聞いている。本人の意思疎通が困難な場合は、本人本位に考え、家族の考え方や希望も取り入れながら把握し支援している。特に言葉で伝えられない、ろうあ者には、トラブル等の原因を推測して対応するよう努めている。</p>
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>居宅介護支援事業所や家族の方などから情報提供してもらい把握に努める</p>	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>その方にあった時間を大切にし余暇活動もできるように取り組んでいる</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の方が生活するにあたり、何を一番に楽しみにされているか、必要としているのかを見極め担当者員も交えて話すようしている。又、県外にいる方やなかなか面会に来られない御家族の方には電話でのやり取りで今の状態等報告している。	本人及び家族・主治医・担当者の意見等を入れて毎月の職員会議で検討し、介護計画を作成している。担当職員等の情報を参考に、6ヶ月毎に見直しをしている。毎日のケアチェックでモニタリングを行い、状況に即した介護計画となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア担当を交えて今後見直しや評価に繋げられるよう話し合っており、記録も生活記録だけではなくケアプランに沿った内容も記録するようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	リハビリの必要な方等は、本人は勿論であるが家族や医師に確認し事業所で連携し対応出来るように取り組んでいる。又、御家族の方にも外出支援の協力を得て利用者の方と過ごす機会を持つようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし万を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での買い物や散髪等行い外からの刺激を得て園での家事作業等楽しく取り組む事ができている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診に来て頂いたり、往診以外にも急変時等状態を報告し診察してもらうようにしている	かかりつけ医は利用者全員が協力医療機関であり、往診が毎日あり少しの変化にも対応できている。緊急時には、隣接老人保健施設の看護師及びかかりつけ医との24時間の医療連携体制を取っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日々の周りの中でえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者に変化が見られた場合隣接された施設の看護職員やかかりつけ医に相談できるよう関係を作っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は病院関係者との情報交換を十分に行い利用者や家族が安心出来るように支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に最期をどのように迎えられるかということの意向を確認している。又、状態変化時に応じてかかりつけ医と家族、職員で話し合いを行うようにしています	契約時に看取り等について意向を確認し、同意書をもらっている。重度化の場合は医師から家族へ再確認し、段階的に話し合いをして、できる範囲の家族の協力と医師の毎日の往診等で、看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練時、救急訓練を行っている。分からぬ事があれば消防隊に聞き助言をもらっている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練行っている。昼間想定にて地域の方の協力を得て避難訓練を行った。	消防署の協力で、年2回の避難訓練を実施しており、地域住民及び民生委員の協力がある。また、法人全体や地域住民にも提供できるよう、専用施設に非常用の食料等の備蓄をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>自尊心や羞恥心に配慮しながら声かけ介助にあたっている</p>	<p>利用者を尊重して入浴やトイレ誘導の時など特に言葉かけに十分注意してプライバシーを守りさりげないケアをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>職員の立場を押しつける事無く利用者の要望を聞き生活できるようにしている。(洋服はどれがいいか?行事食は何がよいか?等確認する)</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者のペースに合わせて本人の希望を優先して支援を行っている</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>外出や行事等普段出来ない御洒落を楽しむ。浴衣やマネキュア、お化粧等。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の方を交えながらその方ができる作業を手伝っていただきながら一つ一つの過程を皆で取り組み楽しみを得る事もできる	職員と一緒に調理の下ごしらえや片づけを行ったり、らっきょう漬けや金柑漬けを作っている。菜園で一緒に栽培した野菜を使ったり、家族等の差し入れで、季節の物を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分をこまめに摂るようにし脱水等にならないようしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で出来る方や出来ない方レベルは違うが介助にたずさわり毎食出来なくとも夕食後しっかりと行うように取り組んでいる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失禁パンツやリハビリパンツを使用しながら排泄間隔や本人の行動を観察しトイレでの排泄を促している	おむつの使用を減らす努力をし、排泄パターンの把握やその日の身体状況、表情、動作の把握をさりげなく観察してスタッフで共有して排泄の自立支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、食事、運動を取りいれ便秘にならないように取り組む。便秘の際はその方に何が足りないのか考えて行動する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴チェック表を用いて、利用者の方が順番に入れるようにしている。希望時に対応できない場合は清拭やシャワー浴、足浴にて対応。入浴時に入浴剤を用いて香りも楽しんでもらっている。	毎日午後に入浴を実施している。職員の介助を受けて、個浴をゆっくり楽しんでもらっている。また、体調等によっては、清拭や足浴等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠時間もその方に合わせて無理強いをしない。テレビや読書をしたり自分なりの時間を過ごしてから入眠できるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	何を服薬されているか確認できるようにファイルに綴っている。又、服薬が変わった際など薬剤師に効能など確認する		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	知人に逢いに行ったり外出したり、時には外食したりと利用者の希望に添える事が出来るように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散髪に行きたいと要望があれば出掛けられるように支援している。又、コスモスや花見等季節に応じて出掛けられるように支援している	徘徊傾向の利用者には、隣接施設へのゴミ出しや散歩・ドライブを兼ねた買い物を日常的に実施している。他の利用者も散歩や希望に沿っての外出を行っている。また、季節の行事では、好みのお弁当を持って出かけ、気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しかった物品等購入出来る様本人の財布からだしてもらいお金の管理ができるように取り組む。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話等、自室で話が楽しめるように配慮したり、手紙を書く際は代筆して本人の意思が伝えられるようにしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畑や園に季節の花や野菜を植え季節を感じせ頂けるように取んでいる。園内にも花瓶を使い季節の花が見られるようにしている	リビングは明るい彩光と季節の飾り付けがされており、レクリエーションや食事のスペースになっている。好きな場所のソファーでくつろげる。ウッドデッキに出て、お茶を楽しんだり、菜園や犬のいる庭との行き来が自由にでき、解放感と癒やしの場となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 　　共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	食堂にソファーを置きそこでゆっくりくつろぎながら話を楽しまれたり、読書をされたりと個々思い思いにて過ごされている		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 　　居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	自宅で使われていたものを持ってきてもらい家庭の延長を目指す。本人が居心地が良い部屋となるように環境を整える	居室のドアは季節を感じる作品が飾られている。居室は自宅で使い慣れたものや写真等を、本人や家族と相談しながら配置され、個性的である。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 　　建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	出来る事への支援を一緒に行い日課となっている利用者の方もいる。無理強いする事無く自発的に行う事で意欲もわいているようである		

V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない